

# 夜間中学校教職員定数削減反対ニュース 2012年No.1

2012年2月6日

都教組夜間中学校対策委員会(連絡先:池田)

## 都教委・夜間中学専任教員大幅削減を計画！ ～「公立小・中学校日本語学級設置要綱」(改正案)提示！～

東京都教育委員会は、1月31日(火)日本語学級のある都内夜間中学校5校の学校長を招集し、「公立小・中学校日本語学級設置要綱」(改正案)を提示し説明しました。

しかし、この(改正案)なるものは、夜間中学校の教育現場にそぐわない大きな問題点があり、多くの夜間中学教職員より反対の声がわき上がっています。

### 【問題点】

今回「公立小・中学校日本語学級設置要綱」(改正案)に、初めて夜間学級の条文が入りましたが、内容には大きな問題があります。

#### (1) 内容上の問題点(日本語学級での学習は1年のみしか認めず！)

①第八条(中学校夜間学級)では、「・・・夜間学級生徒が中学校夜間学級に設置する日本語学級に在籍する期間は特別の事情がある場合を除き、当該日本語学級に在籍した日から1年間を限度とする。」としています。

②昼の小中学校の日本語学級は、第六条で「2年間を限度とする」とされていますが、「2年でも短すぎる。もっと長くして欲しい」との声が現場からあがっています。

③夜間学級の日本語学級には、「中高年生徒や母語の読み書きが不十分な生徒」「仕事・家庭・学校のため、自宅学習の時間がない生徒」等も少なくありません。また、夜間学級の日本語学級には年度途中の編入学者が多く、年度途中にクラス再編成が行われています。さらに、授業時間が少なく、年間総授業時間は昼の半分前後で、初級日本語の習得のため2～3年かかる生徒も少なくありません。

以上、様々な実情を踏まえ、どの夜間中学校日本語学級でも、認可学級数の2倍程度のクラス数と専任教員の確保が欠かせませんが、今回の提案により、専任教員が大幅削減され、実態に応じたクラス編成が不可能になります。

#### (2) 手続き上の問題点(新年度の異動・学級編成まっただ中の発表)

新年度まであと2ヶ月しかない時点での現場への説明。すでに異動の作業や各夜間学級の学級編成も大きく進んでおり、あまりにも現場無視のやり方です。

#### (3) 都議会の全会一致採択の請願に逆行！

2004年にも東京都教育委員会より、財政削減を理由に夜間中学校日本語学級の定数削減が提案されました(従来の学級数×2名から学級数+1名へ。2学級は4名→3名、3学級は6名→4名へ)。都議会でこの提案は通ったものの、「夜間中学校の教職員大幅削減の撤回に関する陳情」は多くの方の共感を得て、1ヶ月余りの間に11105名もの署名が集まり、「陳情第2項「日本語学級の条件改善のための施策を実施すること」は、都議会本会議で全会一致採択されました。

採択されたこの請願等を踏まえ、東京都教育委員会は、日本語学級への専任教職員の加配など、夜間中学校日本語学級の実態に即した対応をしてきましたが、今回の提案は、「条件改善」の都議会方針にまったく逆行するものです。

### 【今後に向けて】

状況は大変切迫しています。以下ご協力下さい。

(1) 周りの方にこの問題を知らせ広めて下さい。

(2) 今後、さらに具体的な取り組みを提案しますので、ぜひご協力下さい。